



編集後記

編集顧問	小川秋實	秋元成太	村井 勝
	郡健二郎	藤岡知昭	
編集委員	大家基嗣	近藤幸尋	小島祥敬

私が最初に海外の英文雑誌に投稿したのは症例報告です (J Urol 159: 1294, 1998). 当時はオンライン投稿などないため、投稿も査読の返事も郵送でした。論文修正と再投稿を行い、最後に論文受理の手紙をもらったときは、開封する手が震えました。その感触・感動は今でも忘れません。しかし最近、IJUのように別雑誌として若手に症例報告の投稿機会を与えてくれる雑誌はあるのですが、多くの海外雑誌では認めていません。

泌尿器科の英文雑誌のなかには、基礎研究の投稿さえも受け付けなくなった雑誌があり、若い先生が投稿先の選択に苦慮しているようです。かつて impact factor を気にするあまり、泌尿器科医が絶対に読まないだろう雑誌へ投稿をしている若い先生をみて、論文執筆の意義をはき違えているのではないかと思いました。雑誌が自ら苦勞して行った研究を表現する場でなく、業績を上げるための手段になっているようにさえ思えました。しかし現実問題として、基礎研究の成果を投稿できる泌尿器科の雑誌が減少する現状には、困ったものです。泌尿器科の雑誌が、基礎研究を軽視し雑誌の客観的評価のみを気にしていることの現れのような気がしてなりません。

臨床研究に関しても、以前と比べて大きく様変わり

しました。前向き大規模無作為化比較試験が質の高い論文とされ、研究デザインや統計処理についても評価対象となり、莫大なお金もかかります。アカデミズムが置き去りにされ、利益を重視した薬剤の有効性に関する大規模無作為化比較試験が超一流雑誌に載り、それがエビデンスとなりガイドラインが作られています。一方、若い先生が各施設で行う独創性の高い研究が、症例数が少ないとか後ろ向き研究というだけで、評価が低くなる傾向があります。

医師にとっての研究や論文執筆の意義は、臨床上重要な洞察力や思考能力を養うことだと思います。症例報告であれば、徹底的にその症例と向き合い1例1例を大切にする感性を磨くこと、基礎研究であれば、結果の出ない実験を試行錯誤しながら組み立てていくことだと思います。論文執筆するためには多くの論文を読み自ずと勉強しますし、査読者とのやり取りのなかで多面的なものの見方ができるようになります。そして、そういった積み重ねは、必ず臨床医としての高い技量を身につけることにつながると思います。時代の変革により医学雑誌の形態は随分変わりましたが、医師にとっての論文執筆の意義に関しては、昔も今も変わらないものだと思っています。

(小島祥敬)

臨床泌尿器科 (第75巻 第7号) (通巻900号)
2021年6月20日発行 (毎月1回20日発行)

定価: 3,080 円 (本体 2,800 円 + 税 10%)

2021 年年間購読料
(増刊号を含む 13 冊, 税込, 送料小社負担)
冊子版 43,824 円
電子版 (個人) 43,824 円
冊子 + 電子版 (個人) 49,324 円

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23
電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5724
(担当: 金子・今田)

販売部直通 (03) 3817-5659

E-mail: rinpi@igaku-shoin.co.jp

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 ㈱双文社印刷 電話 (03) 3973-6271

広告申込所 ㈱文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2021. Printed in Japan.
- 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は株式会社医学書院が保有します。
- 本誌を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に, 出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。
- * 「臨床泌尿器科」は株式会社医学書院の登録商標です。